

市議会だより

No.58



2020年5月1日発行
発行 仙北市議会
編集 仙北市議会・
広報編集 特別委員会

3月定例会、議員賛否
一般質問
総務文教常任委員会
市民福祉常任委員会

P2～3
P4～11
P12
P13

産業建設常任委員会
市民との意見交換会
お詫び・人事案件・
編集後記

P14
P15
P16

■開花した伝承館前の桜



— 3月定例会 —

第2回定例会が2月25日～3月19日まで開催され、令和2年度一般会計当初予算を含む55件の議案が審議されました。また、8名の議員が一般質問に立ち、市政の課題について議論が行われました。

令和2年度 一般会計予算の概要

収入

給与所得等の低下による個人市民税の減、税制改正に伴う法人市民税の減により、市税収入は昨年度比0.6%マイナスの26億665万円を見込む。一方で新たに森林環境譲与税が交付されることにより、地方譲与税は約5,600万円の増となっている。また、地方交付税は国の地方財政対策等により前年度より5,000万円多い83億3,000万円を計上。加えて、田沢湖黒沢工業団地に建設が予定されている植物工場に関する補助金などにより、県支出金が前年度比プラス10億2,340万円となったことなどにより、一般会計総額は214億6,000万円と過去5年間で最大規模となった。

支出

国の働き方改革により4月から公務員に導入される会計年度任用職員制度により、人件費は前年度比6億4,040万円増の35億7,733万円を計上。一方でこれまでの臨時職員制度は廃止となるため、物件費は5億7,451万円減額され、22億5,390万円を見込む。普通建設事業費は、新角館庁舎建設事業の令和2年度分や、黒沢工業団地に建設予定の植物工場に対する補助金が含まれるものの、総合給食センター建設事業などが完了したことや、国の社会資本整備総合交付金事業の減が見込まれ昨年度比7.7%減の37億143万円となる。

6,066万円を可決】 財政健全化を急げ 会計・企業会計170億66万円

議決結果/議員賛否 令和2年 第2回 仙北市議会定例会(招集日:2/25 最終日:3/19)

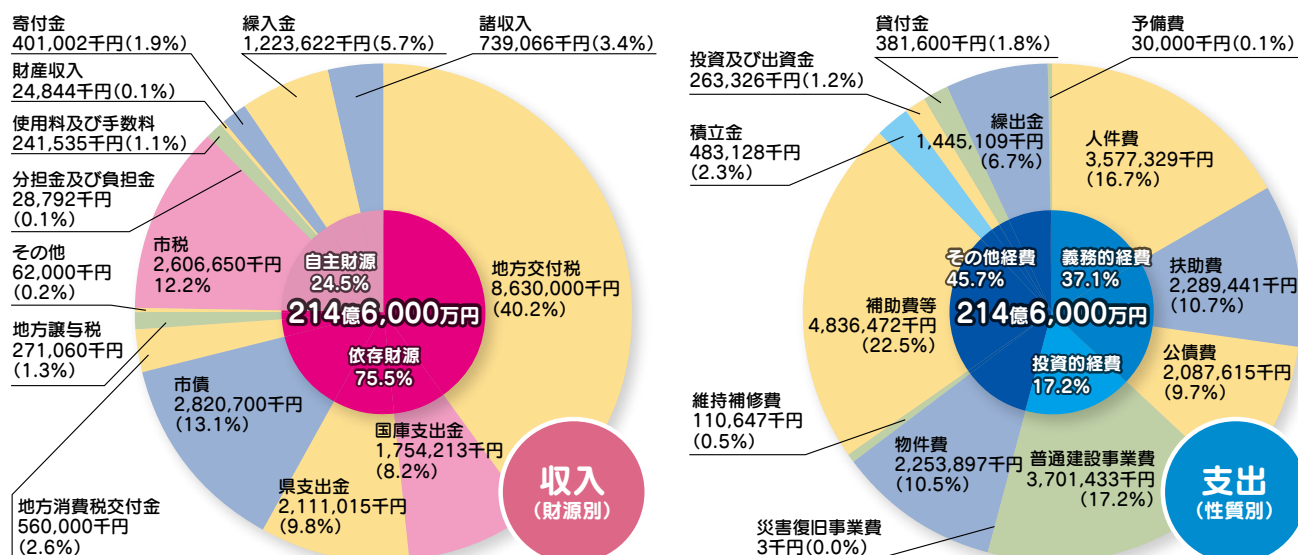
凡例：賛→賛成、反→反対 退→退席 欠→欠席（議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています）

議案番号	会派及び氏名 件 名	議決 月日	議決 結果	蒼生会										く市 ら民				公明党	共産党	無会派	
				黒 沢 龍 己	小 林 幸 悦	高 橋 豪	田 口 寿 宣	八 柳 良 太 郎	眞 崎 寿 浩	高 橋 輝 彦	武 藤 義 彦	門 脇 晃 幸	稲 田 修	伊 藤 邦 彦	阿 部 則 比 古	荒 木 田 俊 一	小 木 田 隆				
議案第5号	工事請負変更契約の締結について	2/25	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
議案第24号	仙北市水道事業等の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛
議案第29号	令和2年度仙北市一般会計予算	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
議案第31号	令和2年度仙北市国民健康保険特別会計予算	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
議案第40号	令和2年度仙北市下水道事業会計予算	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛
議案第50号	令和元年度仙北市病院事業会計補正予算（第1号）	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	反	賛	賛	賛
議案第57号	工事請負契約の締結について	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
議員提出 議案第3号	意見書の提出について（高すぎる国民健康保険料（税）を引き下げるために、徴収に関する算定方法の抜本的改善を求める意見書）	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛
請願第3号	高すぎる国民健康保険料（税）引き下げのための抜本的改善を国に求める請願	3/19	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛
請願第4号	仙北市西木町地域公共交通充実の為に	3/19	不採択	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

令和2年度 一般会計予算の内訳

令和2年度一般会計予算は、過去5年間で最大となる214億6,000万円が計上されました。今年度完成予定の新角館庁舎整備事業費（令和2年度分）や田沢湖黒沢工業団地に建設が予定される植物工場に対する補助金などが予算化されている一方で、市税収入の減少や、財政調整基金（市の貯金）の枯渇化により財政はより厳しさを増しております。また、市債（市の借金）の残高見込みは約238億円と前年度から約19億円増加し、加えて、今後新型コロナウイルスにより経済的ダメージの度合は図り知れず、市民生活を守る施策を展開しながらも、より一層の財政健全化策に取り組むという厳しい舵取りが迫られています。



【令和2年度予算総額384億 一般会計予算214億6,000万円 特別

新型コロナウイルス感染症拡大

～3月19日 緊急経済対策予算を可決～

新型コロナウイルス感染症の拡大は、東京・大阪などの大都市圏を中心に急速に進んでおり、秋田県内においても、既に10数名の感染者が確認されるなど日々緊張感が高まっております。政府では4月7日に緊急事態宣言を発出し、指定された自治体では様々な活動の自粛が要請されておりますが、一方で日本経済は大変な打撃を受けており、仙北市においてもホテル・旅館業、飲食業をはじめあらゆる分野に影響が及んでおります。3月19日定例会最終日には、緊急経済対策として、県や市の融資制度への利子補給に関する補正予算が全会一致で可決されました。今後も感染防止に全力を尽くすと共に、事態終息までの市内事業者の資金繰りや市民生活の確保、終息後の経済対策など、国・県の支援策に加えた独自の対策について市議会としても強く求めて参ります。

●秋田県経営安定資金

（新型コロナウイルス感染症対策）

対象者	直近3ヶ月の受注・売上高が前年同期に比べ減少している中小企業者
融資限度額	5,000万円以内 （通常枠8,000万円とは別枠）
貸付期間	10年以内（2年据置）
金利	年率1.15%～1.35% ※年率1.0%を超える分を市が10年間利子補給
保証料	年率0.35%～1.40% ※保証料全額を補給（令和元年度貸付分）

●仙北市中小企業融資制度

（マルセコロナ対策）

対象者	直近3ヶ月の受注・売上高が前年同期に比べ減少していて、市内に居住し、市税を完納している中小企業者及び小規模事業者
融資限度額	2,000万円以内 （マルセ、マルセ小口・マルセ創業とは別枠）
貸付期間	10年以内（2年据置）
金利	年率1.55%～1.75%※年率1.0%を超える分を市が10年間利子補給
保証料	年率0.76%～0.88% ※保証料全額を補給（令和元年度貸付分）

プログラミング教育への取組み状況は

蒼生会 門脇 晃 幸 議員

教育長

指導計画等を作成し学校ごとの計画・構築を支援している

公教育について問う

質問 仙北市の児童生徒への新型コロナウイルス対策は万全か。

答弁（教育長） 政府の新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた要請に応じ、市内全小・中学校を3月2日から3月21日まで臨時休校とし、引き続



■閑散とした休校中の学校

き4月4日までを春季休業と決定した。各学校では、休校・休業期間中もアルコール消毒液による手洗い、うがい、定期的な換気等を励行し、児童生徒への指導とともに、保護者にも協力を依頼している。また、適宜電話や家庭訪問等で児童生徒の状況を確認しながら、感染予防が継続される

よう依頼している。

質問 来年度から実施となるプログラミング教育への取組み状況は。

答弁（教育長） 令和2年度から初めて導入されるプログラミング教育については、北浦教育文化研究所が中心となり、教員の指導に対する不安軽減を目的とした教育体験研修会を、昨年度は3回、今年度は5回開催している。プログラミング教育は主に小学校であり、中学校は技術・家庭の教員が担当する。教育委員会では、低中高学年の発達段階に応じたプログラミング教育で育成したい資質能力表、仙北市プログラミング教育年間指導計画を作成し、各小学校に配布し、学校ごとの計画や構築を支援している。仙北市はドローン教育を早期に導入し、県内では先駆的な取組みを実施しており、他市町村から資料要求の依頼もある。

質問 教員の働き方改革として教員の増員が有効というが、現状の教員1人当たりの生徒数と理想的な人数は。

答弁（教育長） 昨年度の文部統計要覧等によると、常勤の教職員1人当たりの児童生徒

数の平均は、小学校が全国で15.3人、秋田県で13.0人、仙北市で10.3人となっている。中学校は全国で13.2人、秋田県で10.2人、仙北市で6.7人となっている。児童生徒数の理想的な人数については、どれくらいかという確立されたものはない。しかし、一学級の人数という視点では、児童生徒が自分の考えを持って集団などで話し合い、学習課題を解決していく、探究型の授業を充実させるためには、15人から20人と話す学者の方が多い。

質問 仙北市の不登校者の実態と主な原因は。

答弁（教育長） 令和元年12月末で、小学校3名、中学校19名である。原因としては、小学校では親子関係をめぐる問題や病欠欠席から学校に行きづらくなる児童、中学校ではいじめを除く友人関係をめぐる問題や情緒不安定などが報告されている。各学校では、スクールカウンセラーやソーシャルワーカー等と連携しながら、不登校児童生徒とその家庭の支援をしている。

（武藤 義彦 記）

新型コロナウイルスの感染対策と 経済支援策を早急に

蒼生会 田口 寿宜 議員



市長

早期に実効性の高い取り組みを提案する

財政状況を問う

質問 令和2年度の当初予算案が示されたが、本市を応援して下さる「ふるさと納税」のおかげで予算編成ができたと感じる。ここまで厳しい財政状況になった要因をシビアに分析しているのか。また、分析結果を基にこれまでのような行動を取ってきたのか。

答弁 市単独補助金事業の終期の設定や廃止の検討が遅れたこと、公営企業会計への一般会計からの繰出しの増加、公共施設の集約化の遅れ、第3セクターの見直しの遅れなどに加え、普通交付税が縮減



■財政改革も期待される建設中の新角館庁舎

されているのに、一般財源の削減ができていない、つまり身の丈に合っていない現状が、財政を厳しくしていると分析する。これを基に、病院事業の内部改革や下水道事業の公営企業会計移行による経営改善、第三セクター統合等による経営改善について取り組んでいる。

質問 財政状況を改善していく上で何が必要と考えるか。

答弁 公営企業会計事業を自主独立採算にすることや、公共施設の統廃合による維持管理経費の削減、事業の統廃合等による一般財源ベースの負担軽減や市債発行の抑制等が必要と考えている。

新型コロナウイルス感染症対策について

質問 あらゆるツールを活用し、本市の医療機関での対応等も含め、もしもの時の対応をしっかりと市民に周知し、市民の不安を解消すべきではないか。

答弁 本市は、交流人口が多く感染リスクが高いので、強い危機管理意識で対応している。市のホームページやSNS等を活用して市民の不安解消に努めている。また、高齢

者に対する周知も保健課及び医療局が直接行っている。感染者を出さないように努める他、増えている問い合わせにも親身に対応している。

質問 感染された方やご家族が心無い誹謗中傷に合わない取り組みと相談体制を構築することが必要ではないか。

答弁 市民には、正しい情報を発信して、正しい知識を持つってもらうことが重要と考えている。保健センターには感染者のカウンセリング窓口を整備している。

質問 観光客の大幅な落ち込みへの対策や、経営が悪化した中小企業や小規模事業者の支援策は考えているのか。また、終息後すぐに稼げる環境を創り出すために、今から官・民が強力にタッグを組み行動するべきと考えるがいかがか。

答弁 今後2週間が感染を拡大させない最大の局面であり、市民が一丸となって耐えなけ

ればならない。経営悪化による経済支援については、国、県、金融機関と連携して、こまめな情報提供を行うと共に、市独自の利子補給や保証料全額負担等について検討している。また、融資を受けることが困難な事業者には何ができるのかを検討している。コロナウイルスが終息した後の稼げる体制を含めて、出来る限り早く実効性の高い施策を提案したい。

(高橋輝彦氏)



■閑散としている武家屋敷通り

予算編成が市民要望とマッチしているのか

市民クラブ 荒木田俊一 議員

市長 事業実施に時間を要するものもあり、改善したい

仙北市の財政と予算編成の在り方を問う

質問 市の財源が減少する中、財政調整基金の在り方を問う。基金の目安は標準財政規模の10%が適当と言われているが本市の状況はどうか。

また、市民の多くはインフラ整備等が不十分と感じているが、予算が市民の希望とマッチングしているのかを問いたい。

答弁 財政調整基金の目安としては13億円程度が適正だと考える。現在の残高は約6億5千万円となっているが、5月には10億円を超えると見込んでおり、潤沢ではないが十分に対応できる額であると思う。また、住民希望とのマッチングについて、事業の精査から財源確保、実施までに非常に時間がかかる場合も多々あり、改善に向け努力したい。

また、希望全てに応えることは非常に困難であるため、優先順位をつける必要があると考えている。

質問 新型コロナウイルス感染症拡大など、



■改良工事が進まない神代中央線

当初予算編成時から社会情勢が大きく変わった場合、補正予算で対応する余力が必要である。本来は、当初予算で財政調整基金を取り崩すのではなく、こうした事態に備えるべきであると考えているがどうか。

答弁 新型コロナウイルスの影響で社会情勢は大きく変化している。関係事業者が深刻な状況になっているため、国の財政支援に注視しつつも、市単独での対応をしなければならぬと考えている。

質問 平成29年度決算では、繰出し金が合計35億円にもなっているが、今後上下水道の維持などをどう持続できる

のか。また、予算編成が「ふるさと納税」に頼りすぎているのではないか。このままの寄付額が継続するのとも不明であるため、使途を精査し、これを財政調整基金に積立てるなどするべきではないのか。

答弁 一般会計からの繰出しは基準の範囲内で行うが、経費の節減、収益の増加に真剣に取り組む。また、ふるさと納税の寄付金に頼った財政運営は避けるべきであると考えているが、寄付の目的に沿った形で予算に充当しており、寄付の性格上、活用することを優先している。

SDGsは浸透しているのか

質問 SDGsについては、市民生活に浸透していないと思うがどう受け止めているのか。また、今後の進め方について、単なるイベントの実施ではなく、地域や職場など様々な環境の中で活動を地道に積み重ねていくべきと考えるがどうか。

答弁 取り組みの目標は、「誰一人取り残さない社会を作る」ことであるため、それを知って頂くことが重要だと思

う。仙北市では持続可能な開発目標推進本部を発足して全庁的にポスター、チラシ等で市民の方々に関心を持って頂けるよう努めている。

不要な公共施設の処分を急げ

質問 不要な公共施設等はどうのような管理状況にあるのかを問う。解体や処分の方針についてはどうなっているのか。厳しい財政運営のスピード感をもった対応を求める。

答弁 不要な施設等は所管課で管理している、令和2年度からは所管を一括したい。できるだけ早く個別計画を策定し35%の縮減目標を達成したい。

小中学校における主権者教育について

質問 市における主権者教育はどう行われているのか。

答弁 (教育長) 児童生徒が国家及び社会の一員としての資質、能力を育成する学習として、国民の権利や義務、政治経済、消費生活など様々な点について行われている。

(小木田隆記)

一企業に1億円の助成は財政上耐えられるか

高久 昭二 議員

市長

過疎対策債を活用し7割が国庫負担となるため財政上有利だ

植物工場「仮称ベジタブルファクトリー田沢湖」の事業展開について

質問 市と株田沢モータース間で、いつ話し合いがなされたか伺う。

答弁 平成30年12月19日に先行操業していた鹿角市・大館市を田沢モータース・地元金融機関・仙北市で視察した。以来、9回協議を行い今日に至っている。地区住民説明会を16日に開催予定が、コロナウィルス感染症防止の為、延期している。

質問 財源確保、金融機関と市の役割、事業主体について問う。また、レタスの生産・販売先はどのようなものか。

答弁 植物工場建設事業費25億7,400万円、田沢湖の財源は、国庫補助金10億円、市補助金過疎対策ソフト事業で1億円、残り14億7,400万円は、自己資金と融資と聞いている。水道事業と構内道路整備は、残地活用も含め市で応援する。事業主体としては、田沢モータースを中心とした企業体の設立準備が進んでいる。レタスは、技術提供する企業の全量買い取りとなる模様だ。



■植物工場整備予定の黒沢工業団地

質問 一企業に対し1億円を超える助成をすることについて、財政的に耐えられるのか。また、栽培ノウハウを提供する企業はどこなのか。

答弁 1億円は過疎対策債で、7割が国庫負担となる償還の有利な財源である。企業名は信義に基づき公表できない。

質問 農水省への申請は提出したのか。

答弁 (農林部長) 計画書はまだ提出されていないが、提出されると年度末に内々示が出るということである。

角館下延大瀬蔵野橋架け替えについて

質問 ①いつ決定したのか②何を基準に用地買収を行ったのか③現橋の架け替えは可能か④辺地債8億円中、市負担1、6億円は財政を圧迫しないか⑤説明会の開催は⑥市民から住民監査請求しているが、その返答はいつかについて伺う。

答弁 ①架設後50年が経過している。劣化の激しい橋で平成26年に検討を開始した。令和元年に議会から計画変更の承認を頂いた。②近傍の売買実例を勘案の上単価決定した。③地域振興局より同じ場所への架け替えは不可との事。④辺地債の活用が最も有利である。⑤平成30年11月16日、地域住民へ事業説明会を開催した。⑥できるだけ早く、真摯に対応する。

義務教育の無償化推進について

質問 学校給食費の無償化、半額免除等の検討は行ったのか。

答弁 (教育長) 半額補助、副食費無償化の検討を行ったが財政上難しい。

質問 小学校の卒業記念アルバムが1冊2万3千円する。関係者と協議しての値段か。

答弁 (教育長) アルバム見本を提示して保護者が業者を選定する仕組みにしている。

質問 市の子育て支援、福祉政策で誇れる施策があるのか伺う。

答弁 市単独事業の在宅子育てサポート事業(就学前児童を在宅で育てる家庭に1児童1万円の子育てサポート券支給)を新年度から1万5千円にしたい。

(熊谷 一夫 記)



■建設工事中の大瀬蔵野橋

神代地区ほ場整備事業と道路の曲折、水道管はどうするのか

市民クラブ 伊藤 邦彦 議員

市長

ほ場整備事業と蛇行部分を直線に、水道管も敷設替えをする

神代地区農地基盤整備について

質問 神代地区の基盤整備と神代・西明寺線の道路の曲折、水道施設の方向性をどうするのか伺う。

答弁 県営ほ場整備事業と合わせて蛇行部分を直線にする事を検討している。路線に水道管があるが、新設の市道に敷設替えをしなければと思う。

質問 道路を直線にしてほ場を作るということは、今までの道路下の水道管を敷設替えするということか。数年前に西明寺地区から引水した際には、既に基盤整備事業が予定されており、水道管敷設を3〜5年待ってもらうなどの交渉はなかったのか。

答弁 道路を改修する時は水道事業も附帯していくのが整合であり、経費は掛かるが必要な事業との認識である。当時は、基盤整備事業が確定しておらず水道事業として行わなければならなかった。

質問 現在の水道加入率と費やした費用を伺う。

答弁 (建設部長) 20%弱という加入率で、費用については少し時間を頂きたい。

市の危機管理を問う

質問 本市に配備予定の地上35m高規格のはしご車(2.4億円)は本当に必要か。配置の基準はあるのか。

答弁 消防庁の告示第1号では、はしご自動車の配置基準として、高さ15メートル以上の建築物の火災鎮圧等のため、1つの消防署の管轄区域に中高層建築物の数が概ね10棟以上、または旅館、ホテルで5棟以上ある場合、はしご自動車1台以上を当該消防署またはその出張所に配備するものとされている。当市では該当する建物が9棟存在しており、大変高額ではあるが安全対策のため基準に従う。

質問 危機管理監の認識はどうか。

答弁 (危機管理監) 現在の車両は25年間使用し、老朽化も進んでいる。観光客の皆様の安心・安全を考える上でも必要なものと考えている。

質問 いざという時の消防体制を問うが、日中など、団員が仕事等で出勤できない場合の対策はあるのか。

答弁 田沢湖分署は21人3班の交替制、高原地区第1分団は10名在団している。日中の

消防活動については、消防団と話し合い防災対策に盛り込む。

質問 4月から田沢診療所が廃止され、上桧木内、桧木内の診療日数も減る。その後はどうするつもりなのか。

答弁 田沢は週1回無料タクシーを運行する。桧木内・上桧木内についても総合力を高め医療を提供する観点からの対応である。

質問 市内の防犯カメラの設置状況と街灯の要望と実績を伺う。

答弁 市内防犯カメラ設置数は20基である。令和元年度の防犯灯は、45件の要望に対し42件が設置されている。

地上イージスについて

質問 地上イージス新屋地区配備は、学校や住宅地も近い为一考を願いたいとするものであ



■配備予定の消防はしご車

るが、この問題について知事や佐藤県議と話し合いをした事はあるか。

答弁 無関心ではいられない事案なので、佐竹知事、佐藤県議とも情報共有のため、様々な話し合いをしている。

(高久昭二記)

仙北市は持続可能な自治体経営と 言えるのか

市民クラブ 阿部則比古 議員



市長

特殊な財政事情の後はスリム化を図り 健全化に努めたい

一般会計の予算規模 は大きすぎないのか

質問 今後、交付金の削減や

自主財源の先細りが強く懸念される中、市内インフラの維持管理に多額の負担を強いられることとなり、さらに各庁舎の抱える様々な問題や、不要になった(今後不要になる)市有建築物の解体整理にも相当額の費用を要する現状と合わせて、想定を超える急速な人口の減少や、高齢化による社会保障費の増大も大きな問題となっており、市ではこれまで、先行きを無視して財政運営をしてきたと言われても仕方がないのではないかと考えるが見解を伺う。

答弁 一般会計の規模が大きすぎ、身の丈を超えた予算になってしまっていることについては、何回もその理由等について説明をしてきているところだ。令和2年度の当初予算(214億6千万円)の中でも、特殊財政事情(その年度で特別な取組みをする事業等)が続いており、予算規模が大きくなっているが、基本的には180億円台まで事業を圧縮したいと考えている。交付税は、基準財政収入額

と需要額の差額部分に対して計数が掛けられて算定されるが、年々低くなってきた。様々な国の動静があつて、数%の上増しを維持できているという現状で、この状況を長く続けることは、厳しいものと認識している。

予算規模を180億円台にしていくためには、一般会計の健全化が望まれるが、水道事業や病院事業等で、一般会計から拠出される額のうち、拠出根拠が総務省令以外のもの、プラスアルファのものについてはできるだけ抑えていかなければならないものと考えている。

あわせて、各種団体に対する補助、交付金事業の見直し、公共施設の管理等について、仙北市全体でスリム化を目指して取り組まなければならない。喫緊の課題であるという認識だ。

仙北市の医療行政は

質問 市立角館総合病院の経営

状況が思いのほか芳しくないため、更に一般会計から補正で3億円以上もの繰入れをしようとしているが、市の医療行政について見解を伺う。

答弁 着任した当時から、医

療局の設置や管理者を定めることについての構想は、病院事業改革の計画中に盛り込まれていたものであるが、議論された方向付けをまず踏襲するということが必要だという判断で今日に至っている。

2つの病院と5つの診療機関は、全てが市の医療拠点、医療資源であり、これを有効に機能させるために連動させることが医療改善の大きな柱立てだ。それをコントロールするために管理者を定めたものである。

医療局は、管理者が医療政策を実現するための実行部隊であり、角館総合病院の改革と田沢湖病院の運営とが連動するためには必要な組織であるという考え方のもと取り組んできたが、

医師不足が改善できず、赤字経営が続き、資金不足を起している状況に対し申し訳なく思っている。

現在、大曲厚生医療センターとの連携がかなったことにより、次のステップが開けるものと考えている。

(真崎寿浩記)



■経営改善が求められる市立角館総合病院

神代卒田地区への西明寺低区第2浄水場からの配水は可能か

蒼生会 眞崎 寿浩 議員



市長 新たな浄水場の建設をすることなく給水できる

神代地区の水道事業は

質問 今年度、神代卒田地区の水道事業が始まる。平成30年度の黒倉地区の調査では給水人口が895人であったが、今年度計画の給水人口は272人になっている。変更の理由について伺う。

答弁 当初計画していた区域は、遺跡や浄水場、管路、予算の関係で見直しをした。低コストで最高の効果が見つけたい。

昨年度実施した関係区域の意向調査結果を参考にした。

質問 意向調査の設問について伺う。署名捺印の箇所があり、戸惑われた方もいたようだが真意は。

答弁 進め方で一番重要なことは、市民の皆様への加入率である。巨額な金額



■国道46号線を横断して更なる拡大を担う西明寺低区浄水場

(19億円)を投下しても加入する方がいないのでは効率が悪くなる。加入する世帯を中心に配水の路網を検討するため意思確認をさせて頂いた。

質問 西木地区からの管路の流量で十分間に合うのか。

答弁 卒田地区の対象世帯の

内、加入意思のある世帯に絞り込んだ場合、西明寺地区低区第2浄水場からの配水で、新たな浄水場の建設をすることなく給水できることがわかった。9億8000万円程度まで予算を縮小できると予測している。

質問 意向調査の結果と説明会の開催について伺う。

答弁 調査は、神代地域、卒田地域合わせて28地区472世帯を対象とした。259世帯の回答で率にすると、54.9%だった。「水道が必要」と答えた方は、全体の35.2%、「現在の飲用水に不安や不便を感じている」と答えた方は、全体の23.9%だった。水道の加入については、即時加入から将来的には加入を合わせると全体の38%だった。

西明寺低区第2浄水場から配水可能となり、国庫補助の対象となった場合、各世帯の同意書が求められるので、アンケートに同意書欄を設けた。同意書の提出を頂いた世帯は177世帯で37.5%だった。

説明会は、昨年12月23日に実施している。

質問 今回計画から外れた地域の対応について伺う。

答弁 加入意思のある世帯に対し再調査を令和5年度まで行う。令和5年度以降も事業認可から外されているわけではない。来年度の仙北水道事業基本計画に盛り込みたい。卒田地区水道未普及地域解消事業完了は、令和7年度になる。

学校施設の充実を求める

質問 学校は、児童生徒が学び育ちあう場であると同時に、教職員の職場でもある。学校評議員制度が実施されて20年になるが、評議員の意見はどのように現場に反映され生かされているのか。

答弁 (教育長) 教育委員会が中心となり、評議員の意見について周知し意思統一を図っている。豊かな人間性を育む教育環境として充実しているとは言えない部分もあるが、施設のバリアフリー化、トイレの洋式化、雨漏り修繕の要望などが多く改善や実施に努めている。職員トイレ改修の要望もあり対応した学校もある。

(平岡裕子記)

鳥獣被害額はどれくらいか

蒼生会 八柳良太郎 議員



市長

被害額の算出は困難である

鳥獣被害対策 市民の安全、観光資 源、農作物を守れ

質問 仙北市の過去5年間の捕獲有害鳥獣は、ツキノワグマ183頭、ノウサギ60匹、ウソ210羽、カラス362羽等計864個体である。その被害額と内容を伺う。

答弁 ツキノワグマは水稲未登熟米、スイカ、トウモロコシ、栗などの農作物の被害で、被害額は5年間で483万円である。ノウサギは杉の若芽の被害、ウソは桜の花芽の被害で、観光への影響は甚大だが、被害額として積算することとは困難である。カラスはトウモロコシ等の被害、キジバトは大豆や水稲、アナグマはエダメや養魚の被害、カルガモは水稲、ニホンザルは柿の被害などである。いずれも銃器等での駆除を行っている。

質問 令和元年度の有害駆除費424万2千円の内訳を問う。

答弁 鳥獣被害対策実施隊の報酬として282万円、檻の修繕料が36万円、鳥獣被害防止計画に搭載しているツキノワグマ、ニホンジカ、イノシ

シ以外の鳥獣を駆除するための、猟友会への委託料が30万円、クマ捕獲用の檻の購入費が60万円、新規狩猟免許取得者へ12万円、その他経費で4万2千円である。平成30年度の決算額は620万円で、内、鳥獣被害対策実施隊の報酬281万円、檻の修繕料27万円、鳥獣被害防止計画に搭載しているツキノワグマ以外の鳥獣を駆除するための猟友会への委託料30万円、注意看板製作委託料11万円、クマ捕獲用檻の購入費58万円、新規狩猟免許取得者へ10万円、田沢湖ライフル射撃場整備事業補助金200万円、その他経費2万円である。

質問 近年、クマの生息数が増加傾向（外ノ山近辺、古城山に出没）にある。迅速な対応により人身保護を求める。また、農作物等の被害軽減を図る上で、電気柵を活用してはどうか。加えて、ジビエ（野生鳥獣肉）料理の普及が新たな食文化の発展に資すると考えるがどうか。

答弁 クマについては現行ルール範囲内で最大限対策をする。電気柵の活用も十分検討していく。ジビエについても取り組みたい事業であ

る。また、カラスやウソ、カワウについては現在有効な対策を持ち合わせていないが、

関係機関と連携し様々な取り組みを実施する。

（門脇晃幸記）



■ウソの食害を受ける古城山

総務文教常任委員会

令和2年度一般会計予算 40億6,805万円 庁舎整備事業に12億3,500万円

令和2年度一般会計予算の内、総務委員会では、議会費、総務費、消防費、教育費、公債費などの主要予算が審査されました。新角館庁舎整備事業費の令和2年度分として約12億3,500万円などが計上されています。

令和2年度一般会計予算（総務常任委員会で審査されたもの）

項目	31年度予算額	30年度予算額	比較	伸び率	備考
議会費	1億7,043万円	1億7,317万円	△274万円	△1.6%	議会運営に関する予算
総務費	40億6,805万円	37億7,390万円	2億9,415万円	7.8%	行政運営全般や企画政策等
消防費	10億7,254万円	9億6,107万円	1億1,147万円	11.6%	大曲仙北広域消防や消防団に関わる予算
教育費	15億4,761万円	27億8,369万円	△12億3,608万円	△44.4%	小中学校や幼稚園、公民館、文化財保護等の予算
公債費	20億8,762万円	21億6,660万円	△7,899万円	△3.6%	借金の返済

令和2年度予算 主な内容

庁舎整備事業費	12億3,522万円	新角館庁舎整備事業費の内令和2年度分
公共施設等マネジメント事業費	547万円	公共施設等の統廃合 令和2年度は角館庁舎解体工事実施設計など
ふるさと納税ふるさと便事業費	2億4,766万円	ふるさと納税寄付金に対する返礼品の予算 今年度寄付額は4億円を見込む
デジタル技術による農村再生事業費	1,026万円	近未来技術を活用した次世代農業（スマート農業）プロジェクト
重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業費	7,527万円	武家屋敷の町並みを維持・保存するため修理修景事業を実施
体育施設費	3,345万円	市内の体育館、野球場、運動公園等の維持管理費

ここが知りたい 議論のポイント

令和2年度一般会計予算の主な質疑

厳しい財政を問う 令和2年度予算で経常収支比率はどう変わる？ 予算要求額と実際の予算額との差は？

質問 自治体の財政余裕度を示す経常収支比率だが、30年度決算では99・5％と非常に厳しい数値であった。令和2年度においてはどのような推移することが予測されるのか。また、各課からの予算要求額と実際の予算額との乖離は非常に大きいと聞くが具体的にどのようなものになっているのか。

答弁 経常収支比率などの財政指標については令和2年度においても同水準で推移する。また、予算要求額と査定額の差が大きいものとしては、水道事業会計（1億1,813万円減）、新たな植物工場誘致に関する補助金（5,000万円減）などがある。

ドローン学習の成果は果たしてどれだけあるのか？

質問 ドローン学習研究事業（169万円）では、市内中学校にドローンを配備しプログラミング学習を実施するそうだが、事業実施にあたり、既に配備済みの小学校における成果

を検証するべきではないのか。

答弁 各小学校ではこれまでドローンを活用したプログラミング教育を実施してきたが、新たな学習指導要領においてもプログラミングが導入されることとなり、本市では先駆けて取り組んできたと言える。今回は中学校5校に配備するものであるが、今後小学校での成果についても十分検証して教育に生かしていきたい。

総合体育館整備計画はどうなった？ 生保内体育館の雨漏りはいつまで放置するのか？

質問 過去に総合体育館整備の基本計画策定が行われたはずだが、その後は一体どうなっているのか。

答弁 総合体育館について基本計画は策定したが、市の財源にも限りがあるため、規模や建設手法も含め検討中である。やめた訳ではない。全体的な財政バランスを考慮し慎重に判断していく。

質問 生保内体育館は雨漏りがひどく長年放置されている。施設の利用者も多いため、総合体育館整備が財政提起にかなわないとすれば、早急に生保内体育館の修繕を行うべきではないのか。

答弁 雨漏りは生保内体育館を始め、他の体育館でも発生しており、今後対応を考えたい。また、施設の継続、廃止等についても公共施設等総合管理計画や個別施設計画も踏まえた上で、十分検討していく。

市民福祉常任委員会

令和2年度一般会計予算

民生費・衛生費76億9,659万円

令和2年度一般会計予算の内、民生費、衛生費が審査されました。新年度から二つの幼保連携型認定こども園が開園することから、児童福祉施設費は前年度比1億7,123万円(+11.5%)の増額となっております。また、医師確保対策事業費については、新規の貸付をせず、貸付をしている方々への病院招聘に努力することです。

令和2年度一般会計予算 (市民福祉常任委員会で審査されたもの)

項目		2年度予算額	元年度予算額	比較	増減比率	備考
民生費	社会福祉費	28億2,996万円	28億7,178万円	△4,182万円	△1.5%	障害者や高齢者の福祉に関する予算
	児童福祉費	16億8,923万円	15億5,850万円	1億3,073万円	8.4%	認可保育園の運営など児童福祉の予算
	生活保護費	6億398万円	6億2,448万円	△2,050万円	△3.3%	生活保護にかかる予算
	国民年金費	763万円	840万円	△77万円	△9.2%	国民年金事務に関連する予算
	災害救助費	113万円	107万円	6万円	5.6%	災害救援に関する予算
	計	51億3,193万円	50億6,422万円	6,771万円	1.3%	
衛生費	保険衛生費	5億4,434万円	5億9,715万円	△5,281万円	△8.8%	病気予防や医師確保、歯科診療所、浄化槽整備など
	水道費	2億9,634万円	2億594万円	9,040万円	43.9%	簡易水道、小規模水道等の運営に関する予算
	病院費	9億5,000万円	9億5,000万円	0	0.0%	病院事業に対する補助などの予算
	清掃費	7億7,399万円	8億2,696万円	△5,293万円	△6.4%	ゴミ処理、し尿処理施設などの運営費
	計	25億6,467万円	25億8,005万円	△1,538万円	△0.6%	

令和2年度一般会計予算 主な内容

生きがい活動通所支援事業費	597万円	高齢者が地域で生活を維持するため、多世代交流施設を活用した通所事業
介護タクシー利用助成事業費	59万円	在宅要介護認定者が、通院などに利用した場合半額を助成
社会福祉法人はなさき仙北補助金	2億4,646万円	幼保連携型認定こども園を運営する「はなさき仙北」への補助
生活保護費	5億9,484万円	生活保護法による扶助費の支給。
心の健康づくり・自殺予防対策事業費	201万円	自殺予防の普及啓発活動等を実施

令和元年度病院事業会計補正予算

厳しい病院経営
どのように収益をあげるのか？

質問 建前ではなく、身を削る覚悟で臨むべきでは。

答弁 小児科・脳外科の外来診療日数も減ることにより、今後の収支計画が大事になるとの思いで様々な議論をしている。我々の意見だけでは進まないこともあるので、議会とも積極的に情報交換をしながら進めていきたい。

質問 過去に病院審議会があったが、医師や職員、議員なども含めて検討すべきでは。

答弁 お互いに意見を出し合って、アイデアを頂ければありがたい。病院としても襟を正し対応をしないといけないと思う。

マイナンバーカードの普及率は？
質問 マイナンバーカードの普及率はどうか。
答弁 令和3年度からマイナンバーカードが保険証として使える体制を整えるということと、今年度公務員の方々と作成申込書が送られたことと、今年9月からカードを作って一人最大5千円分のポイントが付く事業が計画されている。
角館こども園への集約化はあるのか？
質問 角館地区4保育園の園児も減少しているが、今後集約化もあるのか。
答弁 角館こども園は新しいが、白岩・中川・角館西保育園は築40年を経過しており小規模修繕を毎年行っている。今年度の出生数は、昨年度より20人程減り角館地区全体で40人程となる見込みである。
令和4年4月を予定に、角館こども園の法人化移行を進めているが集約の方法も検討の中に含めている。

令和2年度
一般会計予算の主な質疑

ここが知りたい
議論のポイント

しており、少しずつ増える想定している。カードの普及率は現在11%で、一年間で9%から11%まで上昇している。

産業建設常任委員会

令和2年度一般会計予算

農林水産業費 19億7,945万円 前年比74.7%の増

令和2年度の一般会計予算の内、労働費、農林水産業費、商工費、土木費などの予算が審査されました。特に農林水産業費は前年度対比で、プラス8億4,667万円(74.7%)と増額幅が大きくなっておりませんが、これは、黒沢工業団地に誘致する植物工場への国と市からの補助金が計上されたためです。

令和2年度一般会計予算 (産業建設常任委員会で審査された項目)

項目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	比較	増減比率	備考
労働費	6,572万円	6,804万円	△232万円	△3.4%	シバ-人材センター補助金など
農林水産業費	19億7,945万円	11億3,278万円	8億4,667万円	74.7%	植物工場への補助金で増額
商工費	8億8,041万円	9億432万円	△2,391万円	△2.6%	商工業振興や観光振興の予算
土木費	18億6,158万円	14億7,816万円	3億8,342万円	25.9%	下水道事業への補助金が計上され増額

令和2年度 一般会計予算の主な内容

強い農業・担い手づくり総合支援事業費補助金	11億円	黒沢工業団地に誘致する植物工場への補助金(国が10億円、市が1億円)
森林経営制度管理事業費	2,639万円	森林環境譲与税を活用した手入れの行き届いていない私有林の意向調査等
観光施設維持管理費	2,864万円	国立公園、県立自然公園ほか市内の観光施設の維持管理
伝承館展示資料購入整備費	310万円	新角館庁舎に飾る樺細工の壁掛け購入費
道路維持費	6,737万円	市道の維持補修費等
道路新設改良費	7億3,452万円	交付金を活用した市道の道路改良事業の実施

ここが知りたい 議論のポイント

令和2年度一般会計予算の主な質疑

地元企業による植物工場は絶対に失敗させてはならない

質問 黒沢工業団地に誘致する植物工場は、フランチャイズ型での経営とのことだが内容は。また、フランチャイズ元の会社はどこか。経営状況の調査や信用調査を行ったのか。

答弁 フランチャイズ型は、栽培技術等の指導や経営コンサルを受けることで、年額1,700万円程度の支払いが発生するが、生産物の全量買取り、工場建設支援、運営ノウハウ及び栽培技術などの最先端技術の提供を受けられるメリットが大きい。フランチャイズ元は、東京都内で半導体、電子部品を取扱っている一部上場企業であり、金融機関でリサーチしているが企業名はまだ公表できない。植物工場は全国5カ所で経営し、大館市と鹿角市にも植物工場があり参考になっている。

質問 この植物工場の経営計画について伺う。また、敷地内のインフラ整備の概要は。

答弁 常用雇用者が5〜10人、非常雇用者が20〜30人である。一株200gのリーフレタスを1日約1万800株栽培し、年間約674トンを生産する計画である。4年目までは赤字で推移するが5年目以降は黒字にできる計画である。インフラ整備は、構内道路を約437万円に舗装予定である。水耕栽培のため、新たに口径100mmの水道管を敷設する工事費として約3,790万円を見込んでいる。

新型コロナウイルス感染症対策を迅速に

質問 新型コロナウイルスの影響による中小企業や小規模事業者の経済支援を早急に行う必要があるのではないか。

答弁 国や県でも経済支援策が出ているが、市独自の利子補給や保証料の免除などを検討している。終息後の観光事業の直ぐに動ける体制づくりについても、観光協会等と連携し早急に提案していきたい。

道路整備と除雪業者の補償の考え方は

質問 令和2年度の道路整備工事に関する考え方を伺う。また、今冬期のように少雪で除雪の出動が少ない場合の待機料を含む除雪業者への補償の考え方について伺う。

答弁 道路整備工事については、配分された予算で工事を計画し、出来る限り地元業者に発注する形で進めたい。除雪業務の待機料については、業務委託契約の範囲内での支払いとなる。改善については新年度の検討事項となる。

新角館庁舎への樺細工の壁掛けについて

質問 新角館庁舎に飾る樺細工の壁掛けは、なぜ伝承館の展示資料購入費としたのか。後で伝承館に展示するのか。

答弁 角館の伝統工芸品のPRを兼ねて新角館庁舎へ展示するものである。科目替えについて検討したい。

市民の皆様との意見交換会

「頂いたご意見 市の回答」

市議会では令和2年1月22日「市民との意見交換会」を開催致しました。3月定例会では、その際に市民の皆様から頂いたご意見やご要望について、議会一般質問や委員会等を通じて議論しております。ここでは、皆様のご意見等に対する市当局の答弁を中心にお知らせ致します。仙北市議会では市政により民意を反映させるため、今後市民の皆様との意見交換の場を積極的に設けて参ります。

運営体連絡協議会においても、今後の活動について活発な議論が交わされており、地域の産業振興や地域課題の解決、伝統文化の継続等に大きな役割を果たすものと考えています。

【市立病院】

意見 脳神経外科、精神科等の医師が不在となっているが、医師の充足に努めてほしい。また、病院の安定した経営を求める。

答弁 新年度より小児科・脳神経外科の医師については、大曲厚生医療センターより派遣して頂きますが、診療日数は減ることになります。また、医師確保対策事業としての修学資金貸付制度を利用中の方々に対し、市立病院への勤務を求め努力します。病院では経営安定化に向け様々な手法を議論・検討しておりますが、患者の皆様

迷惑のかかることがないよう、経費削減・収益増加に向けて取り組んで参ります。

【道路・河川・上下水道】

意見 市道東田鎌川線の早期完成、内川橋の早期架け替えを求める。

答弁 市道東田鎌川線は平成21年度から事業着手しているが、総延長約1.5km中、残延長は0.4kmです。毎年、国の交付金を要望しておりますが、低配分が続きており、未だ完成となっておりません。今後要望活動等に努めて参ります。内川橋は、最初に架設されてから57年が経過し上部工の劣化が見受けられます。現在、架け替えるか補修による上部工拡幅かなど工法を検討しておりますが、いずれも多額の費用が必要となることから、財源を検討の上、早期着工を目指して参ります。

意見 これ以上の上下水道の延伸は見直すべきではないか。

答弁 下水道事業については、角館地区等で一部未整備区域の工事を行っている以外は、ほぼ整備が完了しております。上水道は、水道未普及地域解消事業として現在、角館町山谷崎地区と田沢湖卒田地区の2地区で事業を進めています。加人希望調査を行った上必要な場合に整備する方針で、費用対効果等も加味しながら事業を進めております。

【企業誘致】

意見 生保内黒沢工業団地の有効活用を求める。過去の失敗を検証した上で実効性のある誘致活動を。

答弁 現在は植物工場の誘致が予定されている。以前の経緯を十分検証し、今後、本市産業と結びつくような多様な業種の企業誘致も念頭に県・関係機関と連携し誘致を進めます。

【体育施設等】

意見 生保内体育館の雨漏

りが著しい。利用者も多く困っている。いつまで放置するのか。

答弁 12ページ「総務文教常任委員会」に掲載してあります。

※紙面の都合上、市民の皆様からのご意見・ご要望等の一部のみを掲載しておりますのでご了承願います。

※全内容につきましては、仙北市ホームページ中の市議会ページに掲載致しますのでそちらをご参照下さい。

お知らせ

おでかけ市議会開催中

仙北市議会では、市民の皆様と議会議員の意見交換会「おでかけ市議会」を行なっています。

●お申込み先…仙北市議会事務局
TEL0187-43-0334

お詫び

3月19日開催の本会議において、議員提出議案第5号意見書の提出について「秋田県秋田市新屋地区にイーグリス・アショア基地を配備する計画の白紙撤回を求める意見書」の起立採決を行った際、起立8、着席8、（退席1）により、本来であれば議長が可否同数であることを確認の上、議長採決でその可否を決定するところを、退席していた議員がいたことに気が付かず、賛成少数のため否決と決定してしまう誤りがありました。

本来あってはならない事態であり、今後二度とこのような誤りのないよう、議員全員が襟を正し再発防止に努めて参ります。

市民の皆様を始め関係各位に多大なるご迷惑をおかけしましたことに深くお詫び申し上げます。

～事態の経緯～

■ 3月19日 本会議

- ・「議員提出議案第5号意見書の提出について」起立採決を行う。
- ・採決の結果、起立（賛成）8名、着席（反対）8名、退席1名
- ・議長より賛成少数で否決の宣言あり（その後閉会）
- ・閉会後に可否同数であったことを確認

■ 3月23日

- ・誤りによって否決となった議案について、やり直しのための臨時会開催を要請するため議会運営委員会を開く。3月27日に臨時会開催が決定。
- ・青柳議長が責任を取るとして議員辞職を表明。

■ 3月27日 臨時会

- ・臨時会否決となっていた議案について再提案の上採決。（結果は賛成10、反対7で可決）
- ・その後、青柳議長から議員辞職願が提出され、本会議で許可。
- ・議長不在となったため、新議長の選出を行う。（結果、新議長に黒沢龍己議員を選出）
- ・新議長はこれまで副議長だったため、副議長不在により新副議長の選出を行う。（結果、新副議長に熊谷一夫議員を選出）

議案番号	会派及び氏名 件 名	議決月日	議決結果	蒼生会										市 民 会				公明党	共産党	無党派
				黒沢龍己	小林幸悦	高橋 豪	田口寿宜	八柳良太郎	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	稲田 修	伊藤邦彦	阿部則比古	荒木田俊一	小木田 隆	熊谷 一夫	平岡裕子	高久昭二
議員提出 議案第5号	意見書の提出について（秋田県秋田市新屋地区にイーグリス・アショア基地を配備する計画の白紙撤回を求める意見書）	3/19	否決	反	反	賛	反	賛	反	反	反	反	退	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛

議員提出議案第6号	意見書の提出について（秋田県秋田市新屋地区にイーグリス・アショア基地を配備する計画の白紙撤回を求める意見書）	3/27	可決	反	反	賛	賛	賛	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛
-----------	--	------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

編集後記

議会広報編集委員も今号をもって委員が新編成されます。これまで議会力・議員力をアップさせ、わかりやすい「議会だより」発行に努めて参りました。

市民の皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今後も仙北市の未来づくりのために前進して参りますので、よろしくお願ひ致します。

（熊谷一夫記）

人事案件（継承略）

◎人権擁護委員

伊東 和子（70歳）
西木町松木内字相内13番地1

茂木 一代（58歳）
角館町小勝田中川原1-1-1番地